

第5号

2016年7月25日

# となみ 市議会だより

## Contents

- 5月臨時会  
新しい議会構成 ..... 2
- 6月定例会  
代表質問内容 ..... 3  
一般質問内容 ..... 4
- 定例会報告 ..... 9
- 常任委員会報告 ..... 10
- 9月定例会の日程等 ..... 12

躍動



力いっぱい走る！

5月26日 小学校連合運動会  
(陸上競技場)

## 開かれた議会を目指して

6月定例会



砺波市

庄川と散居に広がる健康フラワー都市



議長  
今藤 久之

議長挨拶

このたび、平成 28 年第 1 回臨時会におきまして、砺波市議会議長に就任いたしました今藤久之でございます。

身に余る光栄でありますとともに、一方で責任の重さを痛感しております。議長として全力を尽くし、公正で円滑な議会運営に取り組んでまいります。

さて、砺波市では人口減少・高齢化社会への対応等、重要且つ喫緊の課題が山積しております。持続可能で活力ある街づくりへの舵取りが求められております中、先に発表されました「住みよさランキング」では砺波市が全国 813 市区の中で総合 3 位となりました。二元代表制の一翼を担う議会は、このことに甘んじること無く更にその役割を果たして行くべきであります。

また、「議会改革」には終わりが無いものだと考えておりますので、これからも継続してまいります。そして、本年度は任期最終年度でありますので、改選後の議会が順調なスタートを切れますように備えておくことは現職の務めであります。

今後とも市議会活動につきまして市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長  
島崎 清孝



議会運営委員長  
山森 文夫



総務文教常任委員長  
川辺 一彦



民生病院常任委員長  
山本 善郎



産業建設常任委員長  
川岸 勇

議会運営委員会、常任委員会、特別委員会の構成

(◎委員長、○副委員長)

委員会名		委員名
議会運営委員会		◎山森 文夫 ○飯田 修平 村岡 修一、稲垣 修、井上 五三男、嶋村 信之
常任委員会	総務文教	◎川辺 一彦 ○稲垣 修 山本 篤史、雨池 弘之、大楠 匡子、嶋村 信之、江守 俊光
	民生病院	◎山本 善郎 ○井上 五三男 桜野 孝也、堺 武夫、島崎 清孝、今藤 久之、飯田 修平
	産業建設	◎川岸 勇 ○村岡 修一 有若 隆、山田 順子、林 忠男、山森 文夫
特別委員会	公共交通対策	◎堺 武夫 ○山森 文夫 山本 篤史、島崎 清孝、村岡 修一、稲垣 修、嶋村 信之
	移住定住・人口減少対策	◎有若 隆 ○桜野 孝也 川岸 勇、大楠 匡子、今藤 久之、飯田 修平、林 忠男
	農業・観光振興対策	◎雨池 弘之 ○山本 善郎 山田 順子、川辺 一彦、井上 五三男、江守 俊光
	広報編集	◎山田 順子 ○山本 篤史 桜野 孝也、堺 武夫、川辺 一彦、山本 善郎、川岸 勇
監査委員(議会選出)		大楠 匡子



山森 文夫議員  
(自由民主党砺波市議会議員会)

**熊本地震を教訓とした  
本市の防災対策について**

第2次砺波市総合計画に庁舎の耐震化及び新築も含む整備計画を計上すべきと考えるが、市長の英断を求める。

**夏野市長** 本庁舎及び平屋棟は建設から50年余りが経過し、耐震化については、市としても改築を含め、検討を始める時期にきている。ただ庁舎の改修には相当の費用を要し、今後も耐震対策を整えた新体育センターや新図書館の建設など大型の事業が続く厳しい財政状況のなかで、財源の確保や整備手順の問題など多くの課題があり、一朝一夕に庁舎の整備が成せるものではない。

とは言いながらも市庁舎は、災害等発生時には、災害対応拠点としての役割を果たすべき重要な建物であり、できるだけ早期の対応が求められることから現在策定中の第2次砺波市総合

計画に庁舎整備計画について何らかの形で位置づけたい。

また、併せて庁舎の改築や大規模な耐震化を行うときには、一時に多額の資金を要することから、必要な財源を確保するため、昨年度末に庁舎整備基金を設け、1億円を積み立てた。今後、できる限り早期に対応できるように庁舎整備基金へ積み立て、財源の早期確保に努めたい。

**総合防災訓練について**

8月実施予定の防災訓練の目的と訓練における到達点を明確にすること、その内容を問う。

**夏野市長** 訓練のテーマとその到達度を明確にし、災害時の対応に生かすことは、たいへん重要だと考えており、チェックシートでの活用も視野に、訓練の成果を体系的に検証したい。

近年の大災害にも見られるように、公助の支援が災害発生直後に行われることは、なかなか

難しいものと考えている。このことを市民の皆さんにも、十分にご理解をいただき、本市の誇りである高い地域力を生かし、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、市民の皆さんとが連携し、より実践的な防災訓練になるよう取り組みたい。

また、各自自主防災組織の皆さんにも、是非今回の訓練を体感いただき、今後の各地区での実効性のある訓練に役立てて、地域の共助力を更に高めていただくよう期待するとともに、より多くの市民の皆さんに参加いただくことで、防災意識の醸成を図りたい。



防災訓練風景

**砺波総合病院について**

砺波総合病院の砺波医療圏内での役割と、医療圏内公的4病院の役割分担について問う。

**夏野市長** 市立砺波総合病院は、医療圏における中心的な病院として、他の公的病院が医療設備等の関係で担えない、高度急性期医療、先進医療、救急医療などを提供し、砺波医療圏のみならず、岐阜県白川地域も含む広域の住民にとって、今後とも安全安心な暮らしを守るために重要な役割を果たしていくことが大切である。

他の公的病院との役割分担について、砺波総合病院は医療圏の中核病院としての役割が期待される一方、他の3公的病院は急性期に加え、回復期、慢性期、在宅医療を含む役割が求められており、医療圏内の診療所とともに、より地域住民に密着した病診連携を推進していくことが大切である。

現在、県で策定中の地域医療構想のなかで、このような点をしっかりと位置づけてもらいたいと考えている。



川辺 一彦  
議員

**発達障がい児等の  
放課後対応について**

放課後児童クラブでの発達障がい児の受け入れや運営体制等について問う。

齊藤副市長 本市では、国の定める「放課後児童クラブ運営指針」に従い、各放課後児童クラブの運営委員会が障がいを持つ子供や保護者と面談の機会を持つなどして可能な限り受け入れに努めている。ただ、発達障害には心理的並びに行動及び情緒の三障害に分類されており、ひとり一人の症状は様々であることから、申し込みの段階で保護者の困り感や子どもの特徴等をより詳細に聞き取りし対応方針を協議している。

また、支援員には発達障がい児等への対応などの研修会や、直接、保育専門アドバイザーの指導を受けるなど支援員の不安の解消や資質向上に努めている。

**総合病院の病棟・  
病床フル活用について**

平成26年から休止されている北病棟5階43床の再活用策について問う。

伊東病院長 この北病棟5階は、看護師等の医療資源を集中的に活用し、効率的な病床管理を行うため、やむなく休床したものである。

今後の北病棟5階の利用方法については、寝たきりの防止と家庭復帰を目的とする治療を行う病棟利用を検討しているが、県の地域医療構想策定の過程において、市内における他医療機関の機能や病床必要数を勘案するなど、もう少し時間をかけて判断したい。



砺波総合病院北病棟（右側）



雨池 弘之  
議員

**国民健康保険事業の保険料・  
料の賦課・徴収について**

平成30年度からの国保制度改革による、都道府県単位化に伴って、保険料率は県内一律となるのかどうか問う。

池田福祉市民部長 都道府県は、全体の保険料収納必要総額を試算し、各市町村の医療費水準や所得水準を考慮の上、市町村が納める事業費納付金を決定する。市町村は、都道府県が示した標準保険料率を参考に、保険料率を決定し賦課・徴収し、それを財源として事業費納付金を県に納付する。原則として医療費水準に応じた保険料率とし、将来的には、県内統一保険料水準を目指す。

**平成27年度の決算見込みや  
今後の運営について**

今後の国民健康保険事業についての運営と税率改定を問う。

池田福祉市民部長 被保険者の減少により、保険税収入が減少する一方で、入院件数が増加し高額の手術が多かったことや、新薬の投与による調剤費の大幅な伸び等により、保険給付費は26年度に比べ5・8%増加し、収支差引額は9200万円余の繰越しが見込まれる。

これまで医療費の適正化や2年連続の保険税の収納率アップを達成するなど、保険料率の据置きに努力してきた結果、4年にわたり税率を維持してきた。27年度の決算では、実質単年度収支で大幅な赤字が想定されることから、保険料率の改定は避けて通れない状況である。





嶋村 信之  
議員

「人」と「心」を育む  
まちづくりについて

若者の政策形成過程の参加について問う。

**山本教育長** 青少年モニター制度は全国レベルで、まだ手探りの面もある。市としては将来を担う若者が機会を捉えて市政やまちづくりに参画することは重要と考えており、若者の関心が、より社会や地域に向けられるようホームページのポップリックコメントなど様々な情報媒体を活用して若者の意見等の聴取に努めたい。

また、となみ元氣道場、商工会議所や商工会の青年部、青年会議所、青年農業士部会など積極的に活動している若者の団体があり、市長と語る会などを通じて意見を聴き、若者の意見が施策や方針に反映できるよう努めたい。

笑顔があふれる  
まちづくりについて

障害者差別解消法の具体的な取り組みについて問う。

**池田福祉市民部長** 「障害者差別解消支援地域協議会」は、「国と地方公共団体の機関が地域における障害者差別に関する相談等について情報を共有し、障害者差別を解消するための取り組みを効果的かつ円滑にネットワークとして組織できる」とされており、現在、本市と小矢部市、南砺市の3市で設置している「砺波地域障害者自立支援協議会」で、地域における障がい者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の実情に応じた支援体制の整備について検討している。



となみ元氣道場

山田 順子  
議員

高齢化社会に対応する健康  
まちづくりの推進について

健康寿命日本一を目指す県民運動(生活習慣改善)に対する本市の取り組みについて問う。

**夏野市長** 県は、高齢者が健康で地域で生き生きと活躍し続けることが重要とし、「健康寿命日本一」を目指し2019年までに健康寿命を男性72・7歳、女性76・3歳を目標とした。本市では、この目標達成のため、健康教育や意識啓発、介護予防事業や健康体操推進事業等の実施と世代間交流や健康保持・増進活動、生きがいづくり事業も推進支援している。健康寿命を伸ばすことで、健康で明るく活気に満ちた地域づくりを推進していきたい。

横山企画総務部長 基本的には、となみ散居村ミュージアムを空き家の利活用に関する総合相談窓口としているが、相談内容によっては、関係窓口と緊密に連携し情報の共有化を図り、不便をかけないよう努めている。

空き家対策の  
取り組みについて

市民が相談しやすい担当窓口の一本化と空き家情報バンクの隣接自治体との連携を問う。

**横山企画総務部長** 基本的には、となみ散居村ミュージアムを空き家の利活用に関する総合相談窓口としているが、相談内容によっては、関係窓口と緊密に連携し情報の共有化を図り、不便をかけないよう努めている。空き家情報バンクについては、現在、県西部6市での(仮称)とやま呉西圏域連携中枢都市圏の形成の中で、地域内外の住民との交流・移住促進を目的の共同運営事業実施に努めていきたい。



健康センター 受診率アップ



山本 篤史  
議員

市内体育施設の  
床板・床面について

文部科学省から「体育館等の床から剥離した床板による負傷事故の防止について」の通達を受け、市はどのような対応をしたのか、また体育館床板の塗装は劣化状況を確認し臨機応変に対応すべきと問う。

三部教育委員会事務局長 通達後に直ちに点検を行ったが、全ての体育館で異状はなかった。学校体育施設は各学校にて、社会体育施設は指定管理者がそれぞれ毎月点検をしている。

市内体育施設は計画的に塗装を実施して床面の保護に努めているが、施設の利用頻度等により劣化状況に差が生じるので、塗装実施時期は状況により柔軟に対応している。塗装の効果を長く維持していくためにモップ掛けが最も有効な手段であり、

今後徹底されるよう利用者へ指導していく。

消防屯所の耐震化について

砺波市公共施設等白書によると、老朽化度合いが100%を越えた屯所が市内12箇所あるが、熊本地震のような地震が発生した場合、消防屯所が倒壊する可能性がある。どのように対応する計画があるのかを問う。

横山企画総務部長 市内の消防屯所22施設のうち、新耐震基準適用前に建築されたのは出町、若林、高波、梅檀山の4施設である。今年度は高波分団の屯所において、旧高波そくさい館を改装して移転する。その他の3施設も順次耐震化を図りたい。



旧高波そくさい館



桜野 孝也  
議員

防災行政無線について

砺波市庄川地域における同報系防災行政無線を今後どのように活用していくのか、また、移動系無線の各地区への配置について問う。

横山企画総務部長 庄川地域における同報系アナログ無線については、毎年メンテナンスを行い、可能な範囲で修理をしながら利用しているが、システムが古いため部品が調達できないなどの問題が生じている。そこで、市としては、今後新たな同報系防災無線の導入は考えていないが、現在の移動系デジタル無線に加え、ホームページやメール、ケーブルテレビの文字放送やFMラジオでの緊急放送などの活用を検討していきたい。

移動系デジタル無線の各地区への配置については、効果的だと思うので、今後検討する。

新たな再生可能エネルギー  
の利活用について

砺波型分散型エネルギーシステムの構築を目指し、太陽光や水力以外に、風力、バイオマス、地熱、温泉水などの利活用について問う。

池田福祉市民部長 本市における再生可能エネルギーの導入については、今年度、チューリップ公園北門に太陽光と蓄電池を設置する。また、計画中の新砺波図書館においては、太陽光に加え地中熱の活用を検討している。砺波型分散型エネルギーの構築や、温泉、風力などによる新たな再生可能エネルギーの利活用については、今後、先進的な事例を参考にするなど、調査研究していきたい。



庄川小学校屋上太陽光パネル



堺 武夫  
議員

### 市職員の意識改革について

市男性職員の介護休暇、妻の出産補助休暇、育児休業等の取得が促進されない事由をどのように認識して具体策を講じ、目標達成するのか。また、目標達成するための管理職員の意識改革と資質の向上を提言する。

齊藤副市長 市男性職員の育児・介護等の休暇取得は、平成27年までの5か年間で、妻の出産補助休暇は約70%と高く、子の看護休暇も4人に1人で、育児休業、介護休暇、子の養育休業等は21年に育児休業が1人だった。この要因は、経済上の難しさ、人事評価への懸念、育児介護は女性がすべきとの風潮が残っているなどである。本市は育児休業を比較的取りやすい環境の配偶者が多いが、この要因も影響している。しかし、男性でも積極的に育児や介護に関する休暇

等取得環境が少しずつ整い、育児休業を利用したいという男性が徐々に増え、本市でも直ちに期待はできないが、増えると考えられている。

制度研修や管理職員向けマニュアル等により、全職員が休業・休業制度を理解し積極的に活用できるよう、普及啓発に取組むとともに、所属長が周囲の理解を得られるよう、率先して制度活用しやすい職場環境づくりを進めることが重要である。

まず、管理職員の意識の一層の改革を図り、育児休業等の取得を積極的に推奨するなど取得しやすい職場環境づくりを行い、目標の達成に努め、人事管理研修や人事ヒアリング等の機会を捉え広く周知啓発したい。



有若 隆  
議員

### 消防団員に対する 処遇改善について

消防団員に対する報酬が平成24年4月から、また、費用弁償は合併以来据え置かれていることから報酬及び費用弁償を改正すべきではないかを問う。

夏野市長 消防団員の報酬及び費用弁償については、24年4月の条例改正以降、見直しを図っていないが、現在の金額が、県内各市と比較して、必ずしも低い状況ではないことから、今後他市の動向や団員の確保状況にも配慮しながら、必要に応じて見直しを検討していきたい。

### 出町市街地の雨水排水 整備計画について問う

大浦建設水道部長 平成10年、11年に市街地における浸水被害

が多発したため、12年度に浸水対策アクションプログラムを策定し短期、中期に掲げるハード面の対策を順次整備してきた。また、ソフト面では、民間気象会社からリアルタイムに降雨情報を入手し、地元住民と連携して水門操作を行い、被害を未然に防ぐ対策を実施してきた。

出町市街地の雨水管渠や貯留浸透施設等の整備については、今後、下水道事業において整備する計画としている。昨年度取り纏めた雨水計画の根幹となる公共下水道全体計画では、これまでの60分降雨強度を48mmから54mmに引き上げをした。河川等への許容放流量が制限されている中で、既存の水路施設を十分に生かすためには、貯留施設が不可欠であることから、駐車場や公園敷地などの公共施設用地を活用して、貯留施設5箇所を設置し、その総貯留量が、約7500立方メートル規模となる施設整備を計画している。





山本 善郎  
議員

### 診療報酬改定に伴う経営改善について問う

**竹林病院事務局長** 医業収益の大部分を占める診療報酬は消費税非課税売上の扱いとなり、材料費等に係る病院が支払った消費税額を控除することができない。このため、この控除対象外消費税（損税）として医業外費用に計上している。

平成27年度決算において損税は、2億9500万円。また、26年度決算における損税のうち消費税率の8パーセントへの引き上げに伴う負担の増加額は、約1億2000万円であった。10パーセントに引き上げられた場合、損税は、3億6900万円となり、7400万円の経費負担の増加が見込まれる。

医療に係る消費税の課税の問題は病院経営の中で非常に重要な課題である。

### チューリップ球根の販売戦略の取り組みについて問う

**牧野商工農林部長** 地方創生加速化交付金を活用し、台湾を新たな販路開拓先とし、チューリップ球根の輸出再開に向けた事業を展開している。富山県花卉球根農業協同組合が昨年12月に実施した「台湾で砺波のチューリップを咲かせよう」プロジェクトで、これまで産地が長年培ってきた独自技術の活用により、冬のない台湾嘉義市においてチューリップの開花に成功し、台湾市民に大きなインパクトを与えた。今後、台湾市民がチューリップに触れ合う機会を積極的に設け、新たな需要創出を図って、20年以上途絶えていた球根の輸出再開につなげたい。



チューリップ球根



川岸 勇  
議員

### 公共施設の適正化について

**夏野市長** 年内に「砺波市公共施設等総合管理計画」を策定し、今後の市有施設のあるべき姿を明らかにしていきたい。計画の対象は庁舎など市の有する196施設に、道路・橋梁・上下水道施設などのインフラを含めた公共施設とし、土地等の動産は対象としない。計画期間は本年度から30年間とするが、10年を目安に中期目標を設定し、社会情勢や市民のニーズにに応じて概ね5年ごとに見直す。

市のホームページ等で「砺波市公共施設等白書」をお知らせし広く情報を共有し、計画段階では、パブリックコメントを実施するなど、それら意見を計画に反映させたい。

少子高齢化が進み厳しい財政

状況の下、今後、全ての施設を現状のレベルで維持・更新していくことは不可能と考えており、個々の施設のあり方については、住民等の意見を聴き検討してまいりたい。

### 幼保施設について

**山本教育長** 南部地区認定こども園として統合する五鹿屋、東野尻幼稚園と民営化する油田保育所の跡地利用については、公民館など自治振興会の施設としてもらう場合、無償貸与や建物の無償譲渡、さらには地区集会施設整備事業補助制度の適用などについても配慮したい。

認定こども園は、幼保教育の観点から、望ましい施設と考えるが、幼稚園と保育園を併設した北部と太田の砺波型こども園以外の他の幼稚園を認定こども園とするとなると、財政面、職員確保の観点から難しい。



## 6月定例会の動き

- |     |           |                |     |                          |
|-----|-----------|----------------|-----|--------------------------|
| 6日  | 本会議       | 会期の決定・市長提案理由説明 | 16日 | 民生病院常任委員会                |
| 13日 | 本会議       | 代表質問、一般質問      | 17日 | 総務文教常任委員会                |
| 14日 | 本会議       | 一般質問、議案の委員会付託  | 21日 | 本会議 委員長報告、質疑・討論<br>議案の採決 |
| 15日 | 産業建設常任委員会 |                |     |                          |

## 6月定例会提出案件

### 【予 算】

- 平成 28 年度砺波市一般会計補正予算（第 1 号）
- 平成 28 年度砺波市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）

〈以上、全会一致可決〉

### 【条 例】

- 砺波市健康福祉施設条例の制定について（名称：ゆずの郷 やまぶき）
- 砺波市議会議員及び砺波市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
- 砺波市税条例等の一部改正について
- 砺波市国民健康保険税条例の一部改正について

〈以上、全会一致可決〉

### 【その他】

- 工事請負契約の締結について（庄川健康福祉施設（仮称）整備事業建築主体工事）  
〈全会一致可決〉



ゆずの郷 やまぶき 完成イメージ

### 【議員の派遣】

- 第 18 回富山県日韓友好議員連盟訪韓団  
期 間 平成 28 年 8 月 30 日（火）から 9 月 2 日（金）まで（4 日間）  
派遣議員 川岸 勇 議員

### 【議員提出議案】

- 新高岡駅への「かがやき」定期便化に関する決議 〈全会一致可決〉  
〈提案理由〉

平成 28 年春のダイヤ改正では、北陸新幹線 JR 新高岡駅への速達タイプ「かがやき」の定期便化は見送られた。これまで県西部 6 市や経済団体等が官民一体の期成同盟会を結成して、「かがやき」の定期便化に向けた取り組みを積極的に進めてきたが、現在は臨時便の「かがやき」が 1 往復するのみにとどまっている。

JR に対し、新高岡駅への「かがやき」の定期便化を求めるためには、乗降客数の増加は必要不可欠であることから、具体的な利用促進策をこれまで以上に全力を挙げて取り組み、目に見える成果を出さなければならない。

新高岡駅への「かがやき」の定期便化は、県西部のみならず、飛越能地域全体の経済・産業・流通の振興・発展に大きく寄与するものと確信している。

よって、本市議会は、新高岡駅への「かがやき」の定期便化に向けた運動を、市民をはじめ関係自治体や経済界と一体となって強力に推進し、JR に対して、新高岡駅への「かがやき」の定期便化の実現を強く要望するとともに、国会及び政府に対しては、その支援を強く求め、その取り組みに全力を尽くすことを決議する。

# 常任委員会 報告

## 主な質疑・意見・要望事項

### 産業建設常任委員会

(6月15日)

国営附帯県営農地防災事業負担金と事業の進捗状況等について問う。

庄川左岸地区県営農地防災事業の受益面積は、6212ヘクタール、事業期間は平成22年から35年までの14年間、事業費の総額が230億円で、本市の負担合計額は13億5500万円となっている。一期地区の事業は28年度で終了し、二期地区は早期完了に向けて事業を実施している。三期地区は29年度事業着手の予定であり、また、四期地区については二期地区完了次第着手の予定である。現在、その事業費ベースの進捗率は50・1%となっている。これまで市債の借入状況は、22年度に借り入れてから、26年度に償還が始まり、27年度末借入金残高は4億6600万円余で、償還のピークは34年度になる。

**用排水路・ため池の安全対策等について問う。**

市内にはため池が84箇所あり、うち使用中のため池は73箇所となっている。看板や安全柵を取り付ける場合の助成措置については、県単農業農村整備事業安全施設型で、中山間地域では県50%、市15%の補助率であり、地元負担は35%とな

### 民生病院常任委員会

(6月16日)

砺波市健康福祉施設条例の制定について、現在の福祉センター条例に合わせ、一部改正として対応しなかつた理由等を問う。

現在の福祉センター条例とは、大きく6点変わることとなる。1点目は、設置の目的のうち健康増進と福祉の向上に加え地域社会の活性化を追加したこと。2点目は、福祉施設内の料金を徴収する場所や、一般に貸出し可能な部屋を指定したこと。3点目は、事業内容にパークゴルフ場やパットゴルフ場との連携を図るため、新たにレクリエーションを加えたこと。

4点目は、開館時間について福祉センターは、日中のみの利用であるが、事前の予約があれば午後9時まで開館できるようにしたこと。5点目は、福祉センターの休館日は毎週月曜日または、毎週水曜日、及び祝祭日の翌日などとしているが、新たな施設は、毎週火曜日を休館日としながらも、4月から11月までは、第3火曜日だけの月1回の休館日としたこと。6点目は、個人利用料金などの料金区分が大きく異なること。

以上のことから、福祉センター条例とは別に、新たに砺波市健康福祉施設条例を制定した。

### 総務文教常任委員会

(6月17日)

砺波市税条例等の一部改正における消費税の動向による影響と、医療費控除の特例内容を問う。

この度の改正は、平成28年3月31日公布の地方税法の改正に伴い、その整合性を図る必要性によるものである。このほど政府は消費税の延伸を示したが、その方針に伴う地方税法の改正はまだ決まっていなから、現行の法令に従うこととなり、今後、改正が示された時点で改正を検討する。

特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例は、自ら健康増進のため努力している方を優遇する税制を加えたものであり、自分の健康管理に対して購入した特定一般用医薬品等が、一年間に1万2千円を超え、上限8万8千円までの部分に適用される。しかし、医療費が高額となった個人の負担を軽減する現行の医療費控除とは併用することができない。

**消防団活動費におけるジェットシューターの機能と配備状況について問う。**

ジェットシューターは、消防車等が入れない急傾斜地や林野において用いる「背負式消火水のう」であり、一度に18リットル

っている。地元負担については、集落の同意があれば、中山間地域等直接支払補助金の活用が可能となり、負担軽減にも繋がる。安全確認については、民家及び道路に近い、ため池12箇所の特検作業を行った。そして、7月上旬までには、市内残りの全てのため池を農林振興センター、地元関係者、土地改良区等と連携して、用排水路も含めた安全対策が必要な箇所の把握に努めるとのことでした。

【質疑項目】

- ・チューリップ切花販路開拓支援事業・水耕栽培普及支援事業
- ・担い手育成・規模拡大推進事業補助金
- ・となみチューリッププロモーション事業
- ・ちびっこ広場通路橋 修復工事設計業務委託費
- ・水田直播栽培の推進状況
- ・イノシシ等有害鳥獣被害対策
- ・高岡砺波スマート・インターチェンジの利用状況と
- ・高速道路路面除草・雑木伐採
- ・砺波大橋歩道
- ・改修・国道
- ・359号砺波
- ・東バイパス工
- ・事進捗と歩行
- ・安全対策



健康福祉施設条例に係る利用の不承認について  
または、目的及び趣旨等を問う。

この施設は、市民の健康増進と福祉の向上に資することを目的とした福祉施設であり、高齢者の方々などに入浴や休憩をしていただく、ゆ

また、間仕切りについては、防音仕様のない移動式であるため、宗教活動や政治活動など、騒音により他の利用者の迷惑となる場合は、利用を制限したい。

【質疑項目】

- ・健康福祉施設の指定管理者制度
- ・27年度国保会計の収支の見込み
- ・マイナンバー制度のカード交付状況と利用の現状
- ・病院事業会計の現状、及び健全化に向けての具体策
- ・総合病院の待ち時間等の満足度
- ・患者総合支援センター「おあしす」とかかりつけ医との連携
- ・ドクターヘリの運航状況とその対応について



の水を携帯でき、ホース先のピストンを動かすだけで10m先まで放水できる。  
今回の配備によって般若分団3台、東般若分団3台、梅檀野分団8台、梅檀山分団9台、東山見分団10台、青島分団2台、雄神分団8台となる。

工事請負契約の締結における入札方法を問う。

この度の（仮称）庄川健康福祉施設整備事業の入札は、予定価格2億1千460万円（税抜）という額面により、1事業所毎ではなく、複数の市内の事業所からなる共同企業体（JV）を要件とした、条件付一般競争入札とした。

【質疑項目】

- ・過去に整備してきたWi-Fiステーションと今回整備するものの相違点、及び今までにあった問題点や要望
- ・地域コミュニティー活動備品整備費への要望に対する対処法
- ・今春の暴風被害における小・中学校施設の修繕費
- ・一般職員の採用状況
- ・認定こども園の開園に向けた準備状況と今後のスケジュール



## 9月砺波市議会 定例会の日程(予定)

- 9月 5日(月) 本会議、議会全員協議会
- 12日(月) 代表質問、一般質問
- 13日(火) 一般質問
- 14日(水) 産業建設常任委員会
- 15日(木) 民生病院常任委員会
- 16日(金) 総務文教常任委員会
- 21日(水) 議会全員協議会、本会議

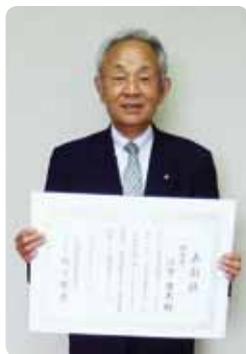
※日程については、8月16日(火)開催の議会運営委員会にて正式に決定します。

## 議会活動報告 (4月～6月)

- 4月11日 第14回議会改革検討委員会
- 20日 議会運営委員会、全員協議会
- 5月 6日 議会運営委員会
- 10日 第1回臨時会本会議、全員協議会
- 17日 議会運営委員会
- 23日 議会運営委員会委員協議会
- 30日 議会運営委員会
- 6月 1日 6月定例会 議案説明会
- 3日 総務文教常任委員会委員協議会  
民生病院常任委員会委員協議会  
産業建設常任委員会委員協議会
- 6日 6月定例会本会議、全員協議会



全国市議会議長会  
議長副議長表彰  
通算5年表彰  
山森 文夫 議員



全国市議会議長会  
議員表彰  
勤続20年表彰  
江守 俊光 議員



全国市議会議長会  
議員表彰  
勤続10年表彰  
村岡 修一 議員



全国市議会議長会  
議員表彰  
勤続10年表彰  
今藤 久之 議員



全国市議会議長会  
議員表彰  
勤続10年表彰  
大楠 匡子 議員

## あとがき

このたびの5月臨時会において、広報編集特別委員会のメンバーも交代いたしました。

「市議会だより」は、予算執行の審議、議会のあり方、議員活動の姿、代表・一般質問の内容などを分かりやすくお知らせすることを目的とするものです。

これからも、市民一人ひとりの皆様に、より読みやすく、理解しやすい「市議会だより」をお届けできるよう、編集委員一同、より一層開かれた議会を目指して、努力する所存であります。

皆様方におかれましては、今後とも忌憚のないご意見を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

砺波市議会広報編集特別委員会一同



桜野孝也 委員  
山本善郎 委員  
山田順子 委員長  
川岸 勇 委員  
山本篤史 副委員長  
堺 武夫 委員  
川辺一彦 委員

